

NPO法人地域活性化支援センターは、「全国プロポーズの言葉コンテスト2011」を開催、1日、日比谷松本楼（東京都千代田区）で受賞発表式を行った。

北在住の彼が、3月の東日本大震災で断水を経験したことになんだ。このコンテストは2007年から開催。地域活性化と少子化対策への貢献を目的として、全国の「恋人の聖地」選定地でのプロポーズを啓発するため、毎年6月第1日曜日の「プロポーズの日」にちなんで実施している。

観光地域の中から、プロポーズにふさわしいロマンチックな場所を認定し、地域の新たな魅力作りと情報発信を促進するもの。今回、熊本県美里町の「ハートができる石橋」、北海道広尾町の「ひろおサンタランド」が新たに選ばれ、恋人の聖地は全国108ヶ所となった。聖地には専用の銘板を交付し、PRに役立ててもらう。また、聖地周辺の観光・商業施設も「サテライト」として認定。一体的な観光振興に役立てることを提案している。

プロポーズで街おごし 全国108ヶ所が 聖地”認定

「全国プロポーズの言葉コンテスト2011」開催

表・表彰式を行った。

献を目的として、全国の

「ハートができる石橋」、

応募作品983作品のなかから最優秀賞に選ばれたのは、東京都の社員・宮下志さんによる「水や電気は不足しても私の愛は不足しないよ」。東

「恋人の聖地」選定地でのプロポーズを啓発するため、毎年6月第1日曜日の「プロポーズの日」にちなんで実施している。

恋人の聖地は、全国の

